

ツェグレディ会長による

音楽的テクニカルセミナー 開講のお知らせ

Leschetizky Society of Japan Musical Technical Seminar

音楽表現のための技術を学ぶ、グループレッスン形式の新しいピアノセミナーです。受講者は一人ずつツェグレディ会長の指導を受け、ピアノに向かうお互いの手の動き等を観察しあいながら、練習の仕方やより良い演奏への道筋を探ります。また、ピアノ演奏者の身体に起きるさまざまな故障や障害についても考えます。

- 第1回 2月6日(月) 10:30~12:30 スタジオ1619(新桜台)
第2回 3月27日(月) 10:30~12:30 フェルマータ001室(江古田)
第3回 4月(日曜日) 当会定例会開催日 10:30~12:30 日程未定
※これ以降 原則として月に1回開催 (日程未定)

● 受講料 1人1回¥4000 *聴講のみも可(受講料は同額)

● 第1回: 2017年2月6日(月) 10:30~12:30

「ピアノのアクションと手の構造の理解、それらの使い方についての考察」

会場 スタジオ1619 練馬区桜台1-27-1 新桜台駅下車 徒歩3分

スケールや様々な音型の弾き方を考察する予定です。曲や教材を特に準備する必要はありませんが、ハノンピアノ教本 Hanon: The virtuoso pianist をお持ちいただくと良いかと思えます。使用言語は、基本的には日本語の予定です。



Janos Cegledy ヤーノシュ・ツェグレディ

1937年ブダペスト生まれ。ニュージーランドのヴィクトリア大学卒業。ドイツ学術交流会(DAAD)の奨学金を得て、ザールラント州立音楽大学音楽院修了(故アンドール・フォルデシュ氏に師事)。ロンドン王立音楽アカデミー、キルドホール音楽演劇学校でディプロマ取得。母校ヴィクトリア大学やマイエール大学、豪州クイーンズランド大学等で講師を務めるほか、日本国内外での演奏活動や作曲を手掛ける。全音楽譜出版社より「ピアノ連弾名曲選集I・II」その他ソロ曲、校訂も多数出版している。またレシエティツキノ国際ピアノコンクール、大阪国際音楽コンクールなど、数多くの審査委員を務める。

後進の育成、美しい音楽の普及の一環として、1991年日本レシエティツキノサエティを設立、会長に就任して現在に至る。

2015年は、レシエティツキノ国際サマーアカデミー(ウィーン)に常任教授として招かれ、またブラジルアポロ文化祭で演奏する等、精力的な活動をしている。

元東邦音楽大学教授、元武蔵野音楽大学講師。

昔の厳しい先生方が「次回までに、よく練習してきなさい」とおっしゃることは多くても「次回までに、このように練習してきなさい」と上達に至る練習方法をはっきり教えてくださることはなかった、というツェグレディ会長。長い経験から体得した「どのように練習すればよいのか」を伝えるのが現在の自分の務めである、との思いでの新開講です。1回ごとに完結する講座ではなく、各回の内容を踏まえた上で継続的に開催される講座ですが、1回のみ受講も可能です。

《お問合せ・受講申し込み》

日本レシエティツキノサエティ

担当 中田尚子 Tel. & Fax. 042-461-6245

E-mail: lesche.semi@gmail.com